



滋賀循環器懇話会

Shiga CardioVascular Forum

2026 March

No.6

<https://scvf.jp>

- はじめに 滋賀医科大学 心臓血管外科 鈴木 友彰
- 滋賀県より 滋賀県健康福祉部健康しが推進課 高須 緑
- 活動報告 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業のご案内
- 滋賀循環器懇話会の皆様へ 滋賀医科大学 循環器内科 中川 義久
- 滋賀循環器懇話会 役員一覧
- 開催予告 第5回滋賀循環器懇話会
第5回県民公開講座

滋賀医科大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等 総合支援センター事業
滋賀循環器懇話会事務局
滋賀医科大学 外科学講座 心臓血管外科教室内
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
Tel : 077-548-2244(医局) Fax : 077-544-2901
cvsshiga@belle.shiga-med.ac.jp

日頃より滋賀循環器懇話会の運営に尽力いただきありがとうございます。滋賀県さまのご指導のもと立ち上げた本会ですが、コロナ後に軌道にのり、おおよそ4年が経過しようとしております。現在、5月の学術研究会、9月の県民公開講座と、この会報誌の発行といった活動をメインで行っております。会の目的は、県内の循環器医の先生方となんらかの繋がりを持ち連携を強めて県民の健康に貢献することです。もしなにかこの会でできそうな面白いことがあればぜひ提案していただきたいと思っております。

最近、他県の循環器医と話す機会が何度かあり、改めて認識したことがあります。地方医療体系として滋賀県の循環器のレベルはとてつもなく高く、抜け目がなくマンパワーも実力も極めて充実しているということです。私は心臓外科医ですが、ものすごく恵まれた環境で働いているということを再認識しています。滋賀県が長寿なのも、循環器医療の充実と関連しているのではないかと思考しているのですが、科学的に証明する方法はあるのでしょうか？大変興味があります。

今後も、「県民の皆様に良い循環器医療を提供する」という最大の目的を遂行すべく、皆様と尽力していきたいと思っております。引き続き、滋賀循環器懇話会をよろしく願いいたします。

滋賀県より

滋賀県における循環器病対策の推進について

滋賀県健康医療福祉部 健康しが推進課 副主幹 高須 緑

日頃より循環器病に携わる病院、各地域医師会の先生方におかれましては、循環器病医療の研究と治療の発展、県民への啓発活動にご尽力いただき深く感謝申し上げます。

本県では、令和5年度に「滋賀県循環器病対策推進計画（第2期）」を策定し、循環器病対策を推進しているところです。

今年度、「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が全国の各都道府県に設置され、本県におきましても滋賀医科大学医学部附属病院に設置されました。患者・家族の相談窓口の開設、地域住民への啓発や、地域の支援者と連携した研究会等の開催等により、県全体の循環器病に係る患者支援体制の充実を目指します。この「脳卒中・心臓病等総合支援センター」を核として関係団体の皆様と連携し、県民の健康寿命の延伸に取り組んでまいりますので、引き続き先生方のお力添えを賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますの発展と御活躍をお祈り申し上げます。

活動報告

2025年4月より、滋賀医科大学医学部附属病院にて「脳卒中・心臓病等総合支援センター」の事業が本格始動しています。当懇話会もこの事業の一環として活動しております。

脳卒中や心臓病に向き合う患者さんやご家族への包括的な支援、そして地域医療との強固な連携を担う「滋賀の循環器病対策の要」となることを目指してまいります。

ホームページもご覧ください。

[URL : <https://noushin-shiga.jp/>]

滋賀循環器懇話会の皆様へ

滋賀循環器懇話会の皆様におかれましては、平素より本会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は滋賀医科大学循環器内科教授として在任中、本懇話会の特別顧問を務めさせていただき、県内の循環器診療に携わる多くの先生方、ならびに関連職種の皆様と交流し、意見を交わす貴重な機会を頂いてまいりました。

滋賀循環器懇話会は、滋賀医科大学心臓血管外科 鈴木教授を中心に立ち上げられ、「循環器医の連携」「滋賀県との連携」「多職種との連携」「県民との連携」という明確な理念のもと活動を続けてこられました。内科・外科、病院・診療所といった垣根を越え、率直な議論と情報共有が行われる場合は、他県にも例を見ない極めて意義深い取り組みであり、滋賀県の循環器医療に確かな厚みと一体感をもたらしてきたと感じております。

特に、循環器病対策基本法の施行以降、滋賀県と連携しながら、行政・医療が同じ方向を向いて循環器病対策を進めていく姿勢は、本会の大きな特徴であり強みです。また、医師のみならず、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師など多職種が関わる循環器医療において、チーム医療の重要性を実践的に示してこられた点、さらには県民公開講座を通じて予防啓発や早期受診の重要性を発信してこられた点には、深い敬意を表します。

私自身、循環器内科医として、また大学病院に籍を置く立場として、本懇話会に関わりながら、大学と地域医療、行政と臨床現場、人と人をつなぐことの大切さを改めて学ばせていただきました。滋賀県の循環器医療は、決して一施設や一診療科だけで完結するものではなく、顔の見える連携と相互理解の積み重ねによって支えられていることを、本会は体現していると感じています。

このたび、令和8年3月末をもって滋賀医科大学を辞し、4月より JCHO 滋賀病院の病院長に就任することとなりました。大学という立場からは一線を退くこととなりますが、地域医療の第一線に身を置く立場として、これまでとは異なる視点から滋賀県の循環器医療に関わっていく所存です。今後も本懇話会の趣旨に深く共感し、病院長という立場から、地域連携、多職種協働、行政との協力に微力ながら貢献できればと考えております。

滋賀循環器懇話会が、今後も世代や立場を超えて多くの仲間をつなぎ、県民の健康といのちを守るための力強いプラットフォームとして、さらに発展していくことを心より祈念しております。最後になりますが、本会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和8年春

前滋賀医科大学循環器内科教授

中川 義久

●役員一覧（2026年3月1日現在 敬称略）

【顧問】

小椋英司（琵琶湖大橋病院）
田仲信行（市立大津市民病院）
和田厚幸（淡海医療センター）
許永勝（草津ハートセンター）
伊藤誠（伊藤内科クリニック）
中嶋康彦（なかじま医院）
中村隆志（済生会滋賀県病院）
木村一博（木村医院）
立川弘孝（近江八幡市立総合医療センター）
水原寿夫（水原医院）
島田徹（島田医院）
森上直樹（森上内科循環器科クリニック）

【特別顧問】

中川義久（滋賀医科大学）

【代表世話人】

鈴木友彰（滋賀医科大学）

【共同代表世話人】

山本孝（公立甲賀病院）

【世話人】

杉原秀樹（高島市民病院）
長岡伊織（ながおか医院）
明石加都子（琵琶湖大橋病院）
貝谷和昭（大津赤十字病院）
白石昭一郎（大津赤十字病院）
木股正樹（市立大津市民病院）
宮崎隆子（市立大津市民病院）
稲垣宏一（いながきハートクリニック）
浜本徹（浜本内科医院）
道家智博（瀬田駅前ハートクリニック）
松井俊樹（JCHO 滋賀病院）
藤井応理（淡海医療センター）

岡田正治（淡海医療センター）
前田清澄（淡海医療センター）
辻貴史（草津ハートセンター）
八木典章（南草津ひだまりハートクリニック）
今井雄太（済生会滋賀県病院）
竹内雄三（滋賀県立総合病院）
山田知行（滋賀県立総合病院）
川人浩之（かわひと内科クリニック）
生田新一郎（生田病院）
中上拓男（近江八幡市立総合医療センター）
松林景二（近江八幡市立総合医療センター）
乃田浩光（近江八幡市立総合医療センター）
堀江元（堀江医院）
大西正人（東近江総合医療センター）
大林靖典（大林内科循環器科）
馬淵博（湖東記念病院）
武田輝規（湖東記念病院）
中野顯（彦根市立病院）
池田智之（いけだ内科医院）
高島弘行（市立長浜病院）
上野義記（長浜赤十字病院）
小澤友哉（滋賀医科大学）

【協力員】

岩崎竜也（大津赤十字病院）
後藤絹（滋賀県立総合病院）
平井太郎（公立甲賀病院）
山下貴久子（滋賀医科大学医学部附属病院）

【会計】

松林景二（近江八幡市立総合医療センター）

【事務局長】

高島範之（滋賀医科大学）

開催
予告

第5回 滋賀循環器懇話会

日時：2026（令和8年）年5月31日（日曜日）14:00～17:00
会場：ホテルボストンプラザ草津

第5回 県民公開講座

日時：2026（令和8）年9月27日（日曜日）14:00～16:00
会場：滋賀医科大学医学部附属病院 リップルテラス